



長門の話題

Topics

暗闇の中にあかりが浮かび上がる 「大寧寺川うたあかり」開催

2月8日(土)から17日(月)の間、「大寧寺川うたあかり」が長門湯本温泉の大寧寺川河口から水辺の広場を会場に開催されました。

「金子みすゞの詩」を中心に、詩や童謡に取り上げられる優しく清らかな世界を視覚化し、家族や恋人が、あかりの風景を見ながら「詩」の世界に思いをはせる静かな冬のイベントである「うたあかり」は昨年の大好評を受け、今年も開催されました。



▲暗闇の中にあかりが浮かび上がる



▲水辺の広場で来場者は食事を楽しむ

市長と協働のまちづくりミーティングがスタート 市民の声をまちづくりに

1月29日(水)、市長と協働のまちづくりミーティングが市役所油谷支所で初開催されました。これは「市民目線のまちづくり」を進めるために、市民の声をしっかりと聞く機会を設けるための具体的な取り組みとして開催するもので、油谷地区を皮切りに、原則月1回の開催が予定されています。



▲各地区のテーマに沿って意見交換を行う

子どもから大人まで幅広い世代で駅伝を楽しむ 第53回日置駅伝大会

2月9日(日)、神田小学校から日置中学校の区間を走る「第53回日置駅伝大会」が開催されました。自治会対抗の1部・2部に9チーム、職域・団体の部に18チームの合計27チームが参加。子どもから大人までのランナーが、沿道の熱い声援を受けながらたすきをゴールへとつなぎました。



▲7人でゴールまでたすきをつなぐ

長門のPeople

世界に通じるプレイヤーを目指して

藪内 あゆみさん (ながとブルーエンジェルス)

1月26日(日)から2月4日(火)まで行われた女子セブンス日本代表(サクラセブンス)オーストラリア遠征のメンバーに選出されたながとブルーエンジェルス所属の藪内あゆみ選手。世界の強豪が集う「HSBCワールドラグビーセブンスシリーズ2019」2020(女子)第5戦シドニー大会に日本代表として試合に出場しました。

とができた。ディフェンスなど通用する部分があり、世界レベルを実感できたことはモチベーションの向上につながっています。「と手応えを感じています。今年開催される東京オリンピックについては「日本代表を経験し、チャンスはある。上には上がいるが、できる限りの努力をしてチャレンジしていきたい」と意気込みを語り、「将来は世界に通じるプレイヤーになりたい」と大きな夢を語ってくれました。



旬な人



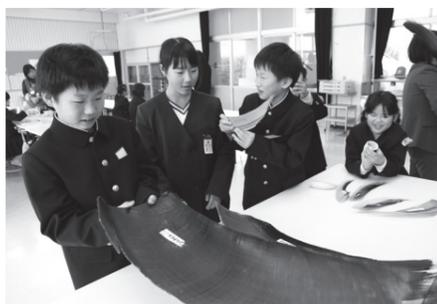
▲どのポジションでもこなすユーティリティーさが持ち味

園児・児童・生徒が鯨の食文化を体験 学校給食に鯨肉が提供

2月3日(月)、「学校給食・くじら交流の日」にちなみ、市内13の小中学校と下関市の77の小中学校と幼稚園で鯨肉が提供されました。

8回目となる「学校給食・くじら交流の日」は、鯨の伝統文化を残す長門市と下関市の市民一体醸成や鯨食文化の普及啓発を目的に、両市の学校給食で鯨肉を提供するものです。児童は美味しそうに鯨肉を食べ、「鯨肉のコリコリとした食感が好き」と感想を話しました。

また、2月5日(水)、市内すべての保育園・幼稚園に長門大津くじら食文化を継承する会から約40kgのニタリクジラの鯨肉が提供され、竜田揚げとして園児・職員に振るまわれました。この日は三隅保育園でセレモニーが行われ、クイズ形式で鯨のひげや歯を紹介。鯨のひげや歯を実際に触った園児は、「チクチクする」「大きい」などと驚いていました。



▲鯨のひげに触れて大きさを確認 (向津具小)



▲鯨の竜田揚げを食べる園児 (三隅保育園)